

第6回 クオリティー・ライフ 顕彰事業

—「素敵な田舎人」 4人を認定—



▲4人の認定者と顕彰委員の皆さん



▲認定証は渡辺とみ子さん（前田・八和木）と佐藤英子さん（二枚橋・須萱）の共同製作

「第6回クオリティー・ライフ顕彰事業」では、佐藤フミ子さん（草野）、菅野元一さん（宮内）、小林美恵子さん（前田・八和木）、長谷川利治さん（前田）の4人が「素敵な田舎人」として認定され、岡本易クオリティー・ライフ顕彰委員会委員長から認定証と副賞が贈られました。

プレイバック

「クオリティー・ライフ顕彰事業」

本年度が第4次総の最終年度であることから、「クオリティー・ライフ顕彰事業」も今回が最終回となりました。

平成11年度からスタートしたこの事業、これまで6回、計25組が「素敵な田舎人」として認定されました。

ここでは、今までの「クオリティー・ライフ顕彰事業」を振り返ります。

「クオリティー・ライフとは？」

第4次のキャッチフレーズは「クオリティー・ライフ」。直訳すると「質の高い・暮らし」ですが、村での質の高い暮らしとは何でしょう。人の暮らしは様々で、価値観や生活もそれぞれ異なります。村民からも「クオリティー・ライフとはどんな生活？」という疑問の声が多くありました。

「素敵な田舎人」はこんな方

- 1、田舎の自然環境を満喫して、都会ではできない田舎ならではの素敵な暮らしや遊びを楽しんでいる方。
- 2、音楽や芸術などの文化創造活動を楽しみ、潤いのある暮らしをしている方。
- 3、何でも自分で作ったり廃品を利用するなど、暮らしに必要なモノをできるだけお金をかけないで作り、また、それを楽しんでいる方。
- 4、都会の人たちとの交流を熱心に進めている方。
- 5、地域の伝統的な暮らしの良さを大切に継続している方や家族。
- 6、地域にある資源を十分に活用し、周りの人や環境に気を配りながら、自然に優しい暮らしをしようとしている方や家族。
- 7、みんなが和む、心あたたまる暮らしをしている方。
- 8、上のどれにも当てはまらないが、クオリティー・ライフ（質の高い暮らし）の考え方に当てはまる暮らしをしていると思われる方。

村民が村民を審査

認定者は、村民らによる

る顕彰委員会が選考します。村民の暮らしを村民が審査する。顕彰委員会では、毎回選考に悩んだそうです。

認定者自身が選ぶ副賞

この事業の特徴の一つが、認定者へ贈られる10万円相当の副賞です。暮らしをさらに高めてもらおうと、認定者ご自身に選んでいただきますが、その品物は様々。次ページでは、これまで認定された25組の方々と贈られた副賞をご紹介します。

「クオリティー・ライフ顕彰事業」認定者 (敬称略)

第1回

- 岡本 易（関沢）
〔副賞：CDプレイヤー〕
- 高橋 日出仁（深谷）
〔副賞：貯金〕
- 佐藤 善治（関根・松塚）
〔副賞：ミニトラクター〕
- 永沢 清（飯樋町）
〔副賞：テーブル〕
- 飯館キムチの会（飯樋町）
〔副賞：韓国へのキムチ研修旅費〕

第2回

- 市沢美由紀・秀耕（深谷）
〔副賞：旅行券〕
- 大内いずみ・雄治（芦原）
〔副賞：旅行券〕
- 天田あけみ・寛幸（大倉）
〔副賞：子育て教室講師派遣費〕
- 菅野 昭三（関根・松塚）
〔副賞：旅行券〕
- 西内 一吉（大久保・外内）
〔副賞：旅行券〕

第3回

- ふるさといたて織里音の会
〔副賞：劇団四季ミュージカル鑑賞チケット〕
- 清水 勝弘（長泥）
〔副賞：カーテレビ、電気カンナ、インパクトドライバー、庭園灯〕

第4回

- 鈴木 保男・玲子（飯樋町）
〔バンドソー〕
- 菅野 昌基・トシ子（宮内）
〔副賞：堆肥40トン〕
- 大槻 義和（大倉）
〔副賞：旅行券〕

第5回

- 草野七福竹炭会（草野）
〔副賞：旅行券〕
- 村山 孝（深谷）
〔副賞：ロックミシン〕
- 佐々木千榮子・勝男（佐須）
〔副賞：餅つき機〕
- 前田炭部会（前田）
〔副賞：旅行券〕
- 佐藤 英子（二枚橋・須萱）
〔副賞：糸のこ〕

第6回

- 佐藤フミ子（草野）
〔副賞：ワイヤレスアンプ一式（特養いたてホームへ寄贈）〕
- 菅野元一（宮内）
〔副賞：種苗新品種登録料2回分〕
- 小林美恵子（前田・八和木）
〔副賞：ガーデンテーブルセット、工房改造資材〕
- 長谷川利治（前田）
〔副賞：尺八工作器具一式〕

「まぐいライフ」の 確立へ

村づくりアドバイザー
日本大学生物資源科学部
糸長 浩司 教授



この「クオリティー・ライフ顕彰事業」を通して、自然と共存した田舎の暮らしの魅力や豊かさを、具体的な村人の暮らしをお手本として学ぶことができました。この事業で示された、村人達の生きざまや生きがい、身近な自然素材を活用した創造的な暮らしをつくる力を大切に、次の目標の「まぐいライフ」の確立に向けて歩み出して欲しいと思います。

「まぐいライフ」がスタートしますが、村民の英知を集め、新しい人を育てていく活動をしていただきたいと思っています。

飯館村は今年度から「まぐいライフ」がスタートしますが、村民の英知を集め、新しい人を育てていく活動をしていただきたいと思っています。

そして、新たに「まぐい」とコンクール（仮称）のようなものにつなげていくことを期待しています。